

・中山間地域の振興に向けて
 ・経営体育成基盤整備事業
 古黒部北部地区について
 ・土地改良区紹介「入善土地改良区」
 ・土地改良区の体制強化について
 ・研修会などの開催案内

新川水士里たより

第3号
 平成22年1月22日
 新川農林振興センター
 農業農村整備事業広報・広聴推進連絡会
 〒937-0863 魚津市新宿10-7
 電話(0765)22-9138【指導課】

中山間地域等 直接支払制度

中山間地域の振興に向けて

中山間地域等直接支払は、農業生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産活動の維持を通して、耕作放棄地の発生防止や、多面的機能(水源のかん養や、自然環境の保全、良好な景観の形成など)を確保するため、平成12年度から導入された制度です。
 現在、第2期対策(平成17～平成21年度)の実施中であり、最終評価を終え、国(農林水産省)において制度の見直しが行われています。

平成22年度から第3期対策がスタート

新川農林振興センター管内においては、魚津市、黒部市、滑川市、朝日町の4市町で62の集落協定が締結され、1192の農地を対象に直接支払制度を利用した農業生産活動が行われていま

この制度は来年度から新たに、第3期対策として実施される予定です。今までの対策に増して、高齢化の進行に配慮した取り組みやすい制度に見直される見込みであり、活動の継続や拡大が期待されます。

集落協定に基づき農地の保全に向けた共同取組活動が行われる場合は、1畝未満の団地等であっても、一団の農用地として取り扱う

高齢農家も安心して参加できる地域ぐるみの取り組みを推進

対象行為として、従来の担い手の育成など、より前向きな取り組み(ステップアップ型)に加え、共同で支え合う農業生産活動の「取り決め」(集団

的サポート型)を新設

小規模・高齢化集落への支援を推進

従来の加算措置に加え、「小規模・高齢化集落支援加算」を新設



中山間地域での共同作業(江津い)

見直しのポイントについて紹介します。
 ポイント1
 山あいに点在する飛び地や小団地等について協定への取り込みを推進

この事業は、地元の意向であった県道朝日入善線のバイパス工事も平成21年度から本格実施され、今後の地域発展が期待されています。



管理された傾斜地

経営体育成基盤整備事業 古黒部北部地区について

古黒部北部地区は、県東部入善町の最北東部で朝日町との境界に位置し黒部川右岸扇状地に展開する団地です。大正9年～10年において8ヶ所に区画整理されたほ場を当事業により標準1畝の大区域に整備しています。

事業実施状況について
 隣接の古黒部南部地区が平成16年度に採択を受け、ほ場整備A1615畝が実施されており、平成21年度に完成予定です。来年4月に

【農村整備課 農地整備第一班】



古黒部地区においてほ場整備を実施し、大区画化されたほ場

土地改良区紹介

入善土地改良区

入善土地改良区は、平成9年に入善町の4土地改良区が合併し、その後は、平成14年4月に更に5土地改良区が合併し、県下で最大級の土地改良区として発足しました。

現在、当土地改良区は、受益面積3685畝、組合員数3731名からなっています。幹線水路延長は56キロに及び、水路など土地改良施設の管理については、旧土地改良区の管轄区域毎に9つの維持管理協議会を設置し、軽微な維持・修繕を行っています。協定の不具合が進み十分対応できません。そこで、管理体制の整備を強化するため、国営造成施設管理体整備促進事業に取り組み、水系毎に係る集落と管理協定の締結を図っていますが、用排水路の総延長が長い為、協定の締結がなかなか進まず、地元調整に苦慮しています。



庄助川排水路

土地改良区の体制強化 について

指導課計画班では県営事業の新規採択地区の計画策定を行っています。事業には防災事業や農道整備、かんがい排水、基幹水利ストックマネジメント事業、農地の集積の向上が条件付けられている経営体育成基盤整備事業等があります。

近年は農家離れ等が進み土地改良施設の恩恵を忘れる人が多くなっています。また、土地改良施設の管理について、農業経営の省力化等の

ため、個人や集落で維持管理・補修等を行ってきましたが、非農家は行政が全て対応するものと考

えている傾向があります。

そのほか、事業の償還が終わると組合員から「土地改良区から脱退したい」との声も聞かれています。

これらから脱退したいという声も聞かれています。強化を図る必要があり、関係者の皆様にご協力を

いただきたいと思います。

【指導課 柄林課長】

研修会などの 開催案内

◎第21回農村振興技術
 連盟写真展
 テーマ「魅せます。とやまの水士里」
 展示日程及び場所
 ・1月29日～1月30日 富山県民会館ロビー
 ・2月8日～2月12日 魚津総合庁舎1階

◎平成21年度富山県農村
 環境創造基金等研修会
 日時及び場所
 ・2月3日(水)
 13時30分～16時30分
 とやま自遊館「神通」

編集後記

国の政権が変わり、農業農村整備事業において、平成22年度予算が大幅カットという厳しい状況に直面しています。

このことを踏まえ土地改良の役割や必要性を広くPRし、多くの方に理解を得ることが大切であると思えます。

年が変わり、今年が『トラ年』世の中の変化が激しい一年になることが予想されますが、常に前を向いて進んでいきたいと思えます。

また、今冬は予想以上の大雪となっています。健康に気をつけ、寒さを乗り切ってください。

【ミツエタ記】



【事務局長 藤田 勉記】